

提 言 書

『いわき市災害公営住宅入居選考基準の策定にあたって』

平成 25 年 9 月 18 日

いわき市災害公営住宅入居選考基準検討委員会

はじめに

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から早や2年半が経過しましたが、これまでいわき市におかれましては、安全で安心した市民生活を取り戻すべく官民一体となり復旧・復興に取り組んで来られました。その中で家屋の解体、ガレキの撤去、道路等の公共施設の修復など、生活に関連する復旧作業は、平成25年度までの目標に対しほぼ計画通り進捗しており、今後は、平成27年度までの復興事業計画の進捗を図る段階とされております。

そのような中、いわき市においては、東日本大震災で住宅を滅失した被災者の方々に対し、安定した生活を確保していただくことを目的に約1,500戸の災害公営住宅の整備を進めており、本年10月中旬から全戸を対象とした一斉の入居申し込みを実施する予定とされておりますが、被災者の置かれている現状や従前の生活実態の違いなどにより入居希望は様々であり、入居希望に沿った住宅への入居が困難となることも想定されますことから、公正な入居を進めるための入居選考基準が必要とされております。

これを受け、今回、「いわき市災害公営住宅入居選考基準検討委員会」におきましては、これまでに全4回に渡る会議を開催し、入居希望者の要望や入居選考にかかる課題の検討を行い、ここに入居選考基準策定にあたっての提言をまとめました。

いわき市におかれましては、この提言内容を参考とされ、災害公営住宅へ入居される被災者の方々が公正な選考により決定されるよう、よりよい入居選考基準の策定を行うようお願いいたします。

今後被災者の方々の一刻も早い生活再建が図られることをご祈念申し上げ、提言に係るあいさつといたします。

平成25年9月18日

いわき市災害公営住宅入居選考基準検討委員会

委員長 齊藤 充弘

目 次

1	災害公営住宅の入居に係る基本的な考え方	P1
2	入居選考に係る課題	P1
3	選考基準の検討視点	
(1)	地域コミュニティ形成への配慮	P1
(2)	地元回帰希望者への配慮	P1
(3)	高齢者や障がい者等への配慮	P2
(4)	別居世帯への配慮	P2
(5)	通勤通学者等への配慮	P2
(6)	居住の状況への配慮	P2
4	選考基準に盛り込むべき項目の提言	
(1)	地域コミュニティ形成の項目	P3
(2)	地元回帰希望者の項目	P3
(3)	子育て・若年世帯の入居の項目	P3～4
(4)	高齢者・障がい者等の項目	P4
(5)	別居世帯の項目	P4
(6)	居住の状況の項目	P5
(7)	その他の項目	P5
5	配点の考え方	
(1)	地域コミュニティの形成への配慮	P5
(2)	子育て・若年世帯への入居への配慮	P5
(3)	それぞれの置かれている状況への配慮	P5
6	入居選考基準表(案)	P6
参考資料 1	検討経過	P7
参考資料 2	委員名簿	P8